

第 43 回全国少年少女躰道優勝大会
第 40 回全国高校生躰道優勝大会実施における
新型コロナウイルス感染防止等による基本方針

2022/5/31 現在

上記の大会を開催するにあたり、実行委員会では下記内容の新型コロナウイルス感染防止対策を講じさせていただきます。大会中や大会後に発症者が出た場合、関係者の健康や感染拡大を防止するため「濃厚接触者」（感染確率が高く、保健所から認定された場合は 10 日間の隔離を余儀なくされる）を作らないよう運営していく所存です。

【濃厚接触者とは（厚労省HP）】

必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1 m 程度以内）で 15 分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。感染予防策とは、三密の回避・マスク着用・消毒などがあたります。ご理解の上、遵守いただきますようお願い申し上げます。尚、今後の感染状況や様々な情報を元に、基本方針を変更する場合があります。

■ 2 週間前～当日対応：

- ・ 各県地区にて来場者の決定を行う
- ・ 来場者（選手/観客/役員/審判/指導者/来賓）は大会 2 週間前 7/17（日）から体温チェック・健康チェックを行う
- ・ 来場者は大会前日に個別に Google forms へ所定の質問に回答し送信する
実行委員会はこれをもとに来場者全員の名簿（名前・連絡先）を作成し、入館チェックを行う ※詳細は改めてご連絡致します。

■ 入館時対応：

- ・ 上記の 2 週間前対応を遵守した者のみ、入館を許可する
- ・ 入場は、各県地区ごとに時間差を設けて入場する
- ・ 入館時は体温チェックと手の消毒を実施する

■ 時程対応：

- ・ 選手は、マスクを常時着用とする（競技中、練習、観戦、コート整列時など含む）
- ・ 開会式は通常通り行う
- ・ 閉会式は通常通り行い、表彰式についても通常通り行う（表彰状・メダルの授与）
- ・ 各コートの結果は、競技終了後すみやかに会場内にアナウンスを行う

■ 会場対応：

- ・ 審判、役員、指導者、観客はマスクを常時着用とする
- ・ 1階競技場への指導者の人数制限を行う
(各県地区から2名まで、ネックストラップ着用)
- ・ 応援は声援を禁止し、拍手のみとする
- ・ 観客席の各県地区の着席エリア設定、エリア内のSD確保を行う

■ 試合前後対応

- ・ 試合後の選手の手の消毒を実施
- ・ 競技終了ごとにコートの消毒を実施

■ 競技中：

- ・ 選手の競技中のマスク着用を徹底
- ・ 実戦の競技時間は小学生1分、中高校生は1分30秒とする(予選・決勝)
- ・ 対戦後の握手は行わない
- ・ 赤帯は各県地区で用意し、尚且つ共有もしないこと。

■ 審判対応：

- ・ 審判は常時マスクを着用すること
- ・ 実戦時は電子ホイッスルを使用すること
尚且つ電子ホイッスルは審判同士で共有しないこと(日本躰道協会が用意します)
- ・ 法形時、判定の旗は個人持ちとし、審判同士で共有しないこと(日本躰道協会が用意します)

■ 来場者規制：

- ・ 来場者数の制限は行わない(500名を想定、会場の広さから三密には該当しない)

■ その他

- ・ 昼食中のSDと私語の禁止を徹底、昼食は各自車内にて済ますこと
車内での昼食が不可能な場合のみ、観客席を使用する
- ・ 各団体の交通手段の分散を推奨(体調不良があれば濃厚接触者となり出場不可となる)
- ・ 大会当日のLive配信は行わず、後日アーカイブ配信を限定公開にて一ヶ月程度行う
- ・ 実戦時の面ピット、胴プロテクターは個人持ちとし、各県地区内でも共有しないことを推奨する
- ・ 三密を避けるため、会場内での競技結果の掲示は行わない(ネットの即時アップのみ)
- ・ 観客席の消毒は各自で対応して頂く。ただし、アルコールボトルは主催者で用意する

- マスクの種類については、個人差があるため指定は行わない。但し、マスクの代替としてのフェイスシールドの使用は禁止する
- マスクは必要に応じて、適宜交換すること
- 大会中に発熱者などが出た場合に備え、実行委員会では開催地付近の PCR やランブ法での検査が出来る病院を確認しておく。